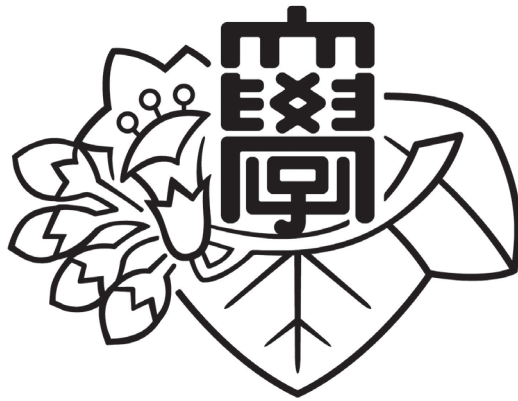


2024
令和6年度

私費外国人留学生選抜
学生募集要項



令和5年11月

岩手大学

目 次

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
II 募集人員	12
III 出願	13
1 出願資格	
2 個別の出願資格審査	
3 出願手続	
IV 障がい等を有する入学志願者との事前相談	19
V 入学者選抜方法等	21
1 入学者選抜方法	
2 入試日程等	
3 受験上の注意	
4 不正行為	
VI 合格者の発表	23
VII 入学手続等の概要	23
1 入学手続締切期日及び場所	
2 入学関係書類	
3 大学納付金	
4 入学料及び授業料の免除等制度	
5 その他の経費	
6 在留資格手続きについて	
7 理工学部の特別プログラム履修生の選抜方法について	
VIII 個人情報の取り扱い	25
IX 建物配置及び試験場案内図	26

同封してある出願書類等

- ① 入学志願票
- ② 写真票・受験票・入学検定料納入確認票
- ③ 払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・振替払込受付証明書（お客さま用）
- ④ 出願理由書
- ⑤ ラベル票

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

1 岩手大学入学者受入の方針

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

2 学部別入学者受入の方針

人文社会科学部

1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な考え方や、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

(4) 主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・数学：数学の基本的な概念を理解し、論理的に思考する力
- ・理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
- ・高校生活全般：他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

(4) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を、小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

(2) 思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

(3) 関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について、法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

(4) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

<別表> 選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・ 理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲	主体性・ 協働性
大学入学 共通テスト	一般（前期）		○		
	一般（後期）		○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		○
	一般（後期）		○		○
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
面接	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生		○	○	○
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

理工学部

1 学部概要 ※各学科・コース・プログラム分は後述

理工学部は、理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し、グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者、次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通部分》 ※各学科・コース・プログラム分は後述

(1) 関心・意欲

- 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人

(2) 知識・技能

- 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を修得しているとともに、理工学および工学分野の学修に必要な基礎的知識及び技能を持ち、さらにそれらの能力を総合的に応用展開できる人

(3) 思考力・判断力

- 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

(4) 表現力・コミュニケーション能力

- 周囲とのコミュニケーションが円滑にとれ、相手に伝えたいことを適切に表現できる人

(5) 主体性・創造性・協働性

- 多様な経験をもとに協働して学び、創造性豊かで主体的に行動できる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース・プログラム毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース・プログラム毎に後述

【化学・生命理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

化学・生命理工学科では、化学、生命に関連する各科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し、国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者、教育者の育成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- 化学・生命理工学の学修に必要な基礎学力
- 化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
- 化学・生命分野における課題を探究し、解決したいという積極性

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<化学コース>

<生命コース>

【物理・材料理工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述，各コース分は後述

物理・材料理工学科では，数理科学，物理科学，物質科学，材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と，関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し，地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者，研究者，教育者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述，各コース分は後述

- ・ 高校教育の中で，数学，物理，化学，英語などを十分に学習し，本学科の学修に必要な基礎学力
- ・ 数理科学，物理科学，物質科学，材料工学に強い関心を持ち，環境との調和に留意しつつ，これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
- ・ 強い勉学意欲と，新しい課題に挑戦する積極性

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については，下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<数理・物理コース>

<マテリアルコース>

【システム創成工学科】

1 学科概要 ※学部分は前述，各コース分は後述

システム創成工学科では，電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探索し，解決するために必要な専門的能力を有し，地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述，各コース分は後述

- ・ システム創成工学を学ぶに相応しい数学，物理，化学，英語などの基礎学力
- ・ 電気電子通信，知能・メディア情報，機械科学，社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち，豊かな発想力と論理的な思考力を有し，自ら積極的に勉学しようとする意欲
- ・ システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については，下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<電気電子通信コース>

<知能・メディア情報コース>

<機械科学コース>

<社会基盤・環境コース>

【特別プログラム（3プログラム）】

理工学部には、次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は、所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え、それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html>

<先端理工学特別プログラム>

〔全学科対象〕

<地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉>

〔システム創成工学科の電気電子通信コース、知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕

<地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉>

〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕

（各コース共通）

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目<各コース・各プログラムで共通>

（1）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	総合型Ⅱ 編入学試験	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由について面接を行い、提出書類に関する確認を行う場合もあります。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等を評価します。
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型 総合型Ⅰ	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由や当該専門分野に関する一般的知識について面接を行います。高校の基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
プレゼン テーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	各プログラムにおいて出された課題に対する関心・意欲、知識・技能、思考力・判断力、表現力・コミュニケーション能力、主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
主体性・協働性に 関する自己評価	一般（前期） 一般（後期）	大学入学以前の学習や課外活動、ボランティア活動などを通じて、主体性や協働性がどのように培われてきたか、またそれを活かしてどのような大学生活を送りたいかなどの意志を示す文章を記載してもらい、主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
出願理由書・ 志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望するコースやプログラムへの出願・志望理由について自筆で作成してください。志望理由が、各コース・各プログラムの入学者受入の方針に合致しているかを総合的に評価します。
推薦書・ 自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	推薦書については、文字数は任意です。自己推薦書については、自筆で作成してください。各プログラムで学修する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	高等学校での学力および生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）について総合的に評価します。各プログラムにおいては、資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもありますので詳細に記載してください。
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を併せて総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目[入学者選抜方法と求める学生像の関係性]

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲	知識・技能	思考力・ 判断力	表現力・ コミュニケーション能力	主体性・ 創造性・ 協働性
大学入学 共通テスト	一般（前期）					
	一般（後期）		○	○		
	総合型Ⅱ					
個別学力検査 <教科>	一般（前期）					
	一般（後期）		○	○		
	編入学試験					
個別学力検査 <主体性・協 働性に関する 自己評価>	一般（前期）					○
	一般（後期）					
個人面接	総合型Ⅱ					
	編入学試験	○			○	
個人面接 (口頭試問を含む)	学校推薦型	○	○	○	○	○
	総合型Ⅰ	○	○	○	○	
プレゼン テーション	総合型Ⅰ	○		○	○	○
	総合型Ⅱ	○	○	○	○	○
出願／志望理 由書・(自己) 推薦書	学校推薦型				○	
	総合型Ⅱ	○				
	総合型Ⅰ	○				○
	私費外国人留学生	○			○	○
日本留学試験	私費外国人留学生		○	○		
調査書	学校推薦型					
	総合型Ⅰ	○	○			○
	総合型Ⅱ					
成績証明書・ 調査書	編入学試験 (機械科学コースのみ)		○	○		○

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

(1) 知識・技能・理解

- ・ 農学分野の自然科学、生命科学、社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

(3) 関心・意欲・態度

- ・ 生命の尊さを知り、食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人

(4) 主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

(1) 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学希望理由書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(2) 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

(3) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(4) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

(5) 私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【植物生命科学科】

1 学科概要

植物生命科学科では、植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに、農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力のある人

【応用生物化学科】

1 学科概要

応用生物化学科では、生命の現象、食品素材の特性、生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに、それらに関連する実験技術を修得します。これらをもとに、微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物圏での物質の動きの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 微生物や酵素の高度利用について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を修得する意欲のある人

【森林科学科】

1 学科概要

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これらをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲のある人
- ・ 森林里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲のある人
- ・ 再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲のある人

【食料生産環境学科】

1 学科概要

食料生産環境学科では、農業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農村の生態系、文化・景観の保全や災害に強い地域づくり、食を取り巻く環境の急速なグローバル化および農業就業人口の減少や高齢化に対応する食料生産技術の高度化、農産物の保存・加工・流通、6次産業化、農業経営の高度化、さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖、加工技術の改良と開発、グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

<農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産基盤の整備と農村環境の保全，地域振興に関して学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食料生産技術，農産物の保存・加工・流通，6次産業化，および農業経営に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 農村地域の持続的発展のために，地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全，および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ 食料生産環境の科学的な解明，農作業の快適化と効率化，農産物の高付加価値化と持続可能な流通システムの構築，農業廃棄物の有効利用に関する理論と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバル化に対応した農業経営の高度化，グリーンツーリズムや観光を含めた農業の6次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲のある人

<水産システム学コース>

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 水産資源の管理・生産，その利活用，流通・販売に関する自然科学・社会科学の広い学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち，東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち，問題解決に取り組む意欲のある人
- ・ 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち，真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

【動物科学科】

1 学科概要

動物科学科では，産業動物，実験動物，野生動物，展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に，広く生命科学の基礎知識を学習するとともに，関連した実験技術を修得します。これらをもとに，人と動物が共生する地域社会の創造や動物関連産業の発展，生命科学の発展に貢献できる国際的視野を持った人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物科学への強い関心を有し，課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- ・ グローバルな視点から，動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

【共同獣医学科】

1 学科概要

共同獣医学科は，獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき，高度獣医療の提供，人類の健康と食の安全，生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

(1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し，グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

(2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち，それを継続して探求しようとする意欲のある人

- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3 地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち、産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型	文章を客観的に読解把握する力、内容に対する自らの考え方を述べる力、農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて共同獣医学科が行う総合型Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。
大学入学希望理由書	一般（前期）	個別試験会場にて入学を希望する理由を本人が記入し、大学で農学を学ぶ意欲について評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・ 技能・ 理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・ 意欲・ 態度	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 私費外国人留学生 総合型Ⅱ		○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書*	学校推薦型 総合型Ⅱ	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		
大学入学希望理由書	一般（前期）			○	○

*一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

なお、森林科学科、共同獣医学科が行う総合型選抜Ⅱで第1段階選抜を行う場合は、出願理由書、調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。

Ⅱ 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程 等		募 集 人 員
人文社会科学部	人 間 文 化 課 程		若干名
	地 域 政 策 課 程		若干名
理 工 学 部	化学・生命理工学科	化 学 コ ー ス	若干名
		生 命 コ ー ス	若干名
	物理・材料理工学科	数 理 ・ 物 理 コ ー ス	若干名
		マ テ リ ア ル コ ー ス	若干名
	システム創成工学科	電 気 電 子 通 信 コ ー ス	若干名
		知 能 ・ メ デ ィ ア 情 報 コ ー ス	若干名
		機 械 科 学 コ ー ス	若干名
		社 会 基 盤 ・ 環 境 コ ー ス	若干名
農 学 部	植 物 生 命 科 学 科		若干名
	応 用 生 物 化 学 科		若干名
	森 林 科 学 科		若干名
	食 料 生 産 環 境 学 科	農 村 地 域 デ ザ イン 学 コ ー ス	若干名
		食 産 業 シ ス テ ム 学 コ ー ス	
		水 産 シ ス テ ム 学 コ ー ス	若干名
	動 物 科 学 科		若干名
共 同 獣 医 学 科		若干名	

Ⅲ 出 願

大学入学共通テストを免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

なお、理工学部のみ、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生選抜を行います。

1 出願資格

次の(1)、(2)、(3)の全てに該当する者

(1) 日本国籍を有しないで、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

(2) 次のアからキのいずれかに該当する者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

カ 国際的な評価団体（WASC, ECIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び修了見込みの者

キ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者

(3) 志願する学部の指定する日本留学試験を受験した者

ただし、理工学部及び農学部を志願する者は、次の要件も満たしていること。

ア 理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が、260点以上であること。

イ 農学部植物生命科学科、応用生物化学科、森林科学科、食料生産環境学科、及び動物科学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解、記述）、数学及び理科（2科目）の各科目の得点が平均点以上であること。

ウ 農学部共同獣医学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）、数学及び理科（2科目）の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上）、かつ日本語記述の得点が35点以上であること。

注1) (2)のキの資格で出願しようとする者は、次ページの「2 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。((2)のアに該当する場合を除く)

注2) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者及び日本の永住許可を得ている者は、一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。

2 個別の出願資格審査

本学に「1 出願資格」(2)のキの資格で出願しようとする者については、次のとおり出願資格審査を行います。
出願資格審査は該当者のみ必要となります。出願に先立って、自身の該当する出願資格を必ず確認してください。

(1) 出願資格審査の対象者

- ① 高等学校に相当する、外国人を対象に教育を行うことを目的とした教育施設を卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者
- ② 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

(2) 申請期間及び申請方法

出願資格の認定を受けようとする者は、下記期日までに申請書類を取りそろえて申請してください。

理工学部 令和5年11月24日（金）

人文社会科学部及び農学部 令和6年1月4日（木）

なお、日本国内から郵送する場合は、必ず書留郵便で、日本国外から郵送する場合は、必ず国際スピード郵便（EMS）で郵送してください。

また、封筒の表に「大学出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

(3) 申請書類等

① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

- ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- イ 当該教育施設の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書（必ず原本を提出してください。）
- ウ 当該教育施設の成績証明書又は調査書（必ず原本を提出してください。）
- エ 当該教育施設の学則（規則）等
- オ 当該教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）
- カ 返信用封筒
 - ・ 日本国内からの場合：長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して824円（速達書留料金の切手を貼ってください）。
 - ・ 日本国外からの場合：17ページ（4）出願書類等⑧受験票の送付に必要なものの箇所を参照し、該当する枚数の国際返信切手券を同封してください。

② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

- ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- イ 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類
- ウ 返信用封筒
 - ・ 日本国内からの場合：長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して824円（速達書留料金の切手を貼ってください）。
 - ・ 日本国外からの場合：17ページ（4）出願書類等⑧受験票の送付に必要なものの箇所を参照し、該当する枚数の国際返信切手券を同封してください。

※ 「出願資格認定申請書用紙」は、岩手大学学務部入試課（次ページ(9)参照）まで請求するか、本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/requirements.html>）からダウンロードしてください。

※ 必要に応じて、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

※ 受理した申請書類等の返還は認めません。

※ 外国語で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。

(4) 審査の方法及び審査期間

審査は、提出された申請書類により行います。

なお、審査は原則として下記期日までに行います。

理工学部 令和5年12月1日（金）

人文社会科学部及び農学部 令和6年1月10日（水）

(5) 審査機関

岩手大学入試委員会の審査を経て、岩手大学長が認定します。

(6) 審査基準

① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

申請者の当該教育施設の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。その結果、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ申請者が必要単位を修得（修得見込み）している場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。その結果、学習歴等について高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

(7) 審査結果の通知

審査の結果、出願資格を認められた者については、下記期日までに申請者あてに「岩手大学出願資格認定書」を送付します。

なお、出願資格を認められなかった者については、理由を付して結果を送付します。

理工学部 令和5年12月8日（金）

人文社会科学部及び農学部 令和6年1月15日（月）

(8) 岩手大学入学者選抜試験の受験について

「岩手大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。

(9) 送付先及び問い合わせ先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8 ☎019-621-6064

3 出願手続

(1) 出願方法

出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。郵送する場合は、封筒の表に、「**私費外国人留学生選抜出願書類在中**」と朱書きしてください。

なお、日本国内から出願する場合は、必ず**速達書留**で、日本国外から出願する場合は、必ず**国際スピード郵便（EMS）**で郵送してください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課（Admissions Office, Iwate University）

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8 (3-18-8 Ueda, Morioka, Iwate, 020-8550 JAPAN)

(3) 出願受付期間

理工学部

令和6年1月16日（火）から1月18日（木）まで【必着】

人文社会科学部及び農学部

令和6年1月22日（月）から1月31日（水）まで【必着】

持参の場合、受付時間は月曜日から金曜日の10時から16時までです（ただし、祝日を除く）。

出願書類等は、出願受付期間内に届くよう余裕をもって提出してください。

出願受付期間を過ぎて到着したものは受け付けません。

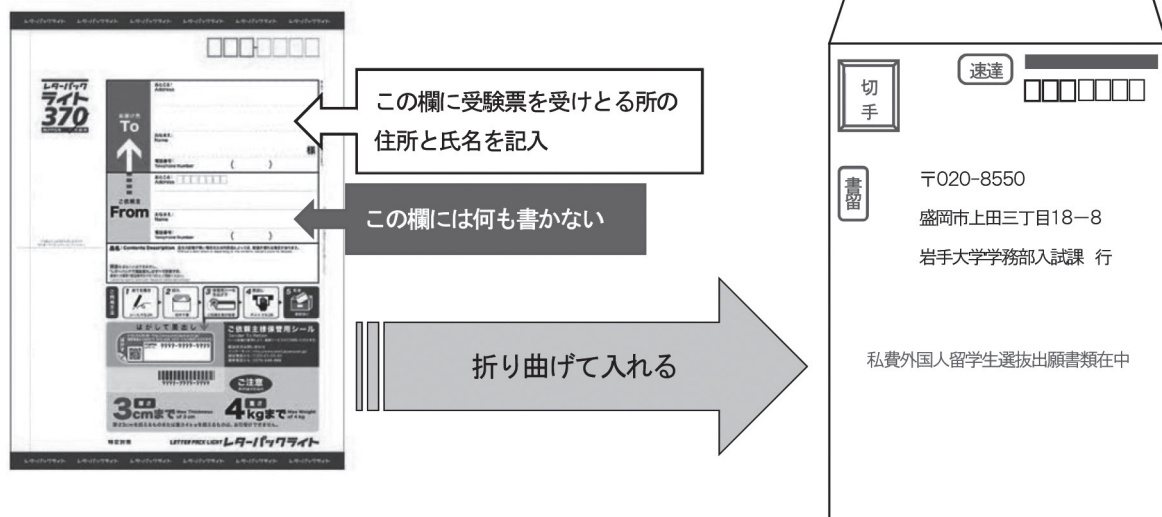
(4) 出願書類等

書 類 等	留 意 事 項
①入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の用紙に志願者本人が日本語で記入してください。ただし、氏名欄はアルファベットで、パスポートと同じ表記で記入してください。
②写真票・受験票・入学検 定料納入確認票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太枠線内に、志願者本人が記入してください。 ・ 氏名欄はアルファベットで、パスポートと同じ表記で記入してください。 ・ 写真票には写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 検定料の納入については、18ページの「(5) 検定料の納入方法」に従ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 <p>注) 災害救助法適用地域における検定料免除措置については、18ページの「(6) 検定料免除」を確認してください。</p>
③出願理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の用紙に志願者本人が日本語で記入してください。
④出願資格を有することの 証明書 ※ 外国語で記載された証 明書には、日本語訳を添 付すること。(注1)	<p>a. 出願資格(2)のアの学校教育における12年の課程を修了（見込み）の者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の発行する卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書（必ず原本を提出してください。） * 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は、その証明書（該当者のみ） <p>b. 出願資格(2)のアの文部科学大臣の指定した者で出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当該国の検定に合格したことを証明する書類等 * 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は、その証明書（該当者のみ） <p>c. 出願資格(2)のイにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し <p>d. 出願資格(2)のウにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * アビトウア資格証書の写し <p>e. 出願資格(2)のエにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * バカロレア資格証書の写し <p>f. 出願資格(2)のオにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * GCE・Aレベル（General Certificate of Education, Advanced Level）試験の成績評価証明書（科目数は3科目、成績評価はE以上のものに限る。） <p>g. 出願資格(2)のカにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 出身教育施設（日本の高等学校に相当する施設）の発行する修了証明書又は修了見込み証明書（必ず原本を提出してください。） * 当該教育施設が評価団体から認定を受けた証明書 <p>h. 出願資格(2)のキにより出願する者</p> <ul style="list-style-type: none"> * 14ページの「2 個別の出願資格審査」手続きにより、本学から送付された「岩手大学出願資格認定書」の写し
⑤日本留学試験の受験票の 写し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2023年度日本留学試験（第1回又は第2回実施のいずれか）の受験票の写しを提出してください。
⑥成績証明書又は当該検定 等の成績証明書 ※ 外国語で記載された証 明書には、日本語訳を添 付すること。(注1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績証明書については出身学校が作成したもの、当該検定等の成績証明書については当該検定実施機関が作成したものを提出してください。なお、必ず原本を提出してください。 ・ 「飛び級」や「繰り上げ卒業」の事実があれば、その証明書も提出してください。 ・ 出願資格(2)のアで、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は、その成績証明書も併せて提出してください。

<p>⑦国籍及び在留資格等を確認できるもの</p> <p>※ 外国語で記載された証明書には、日本語訳を添付すること。(注1)</p>	<p>a. 日本で住所地の届け出を行っている場合 「住民票」を取得の上、提出してください。なお、下記の記載事項が省略されないように注意してください。 志願者本人の氏名、生年月日、性別、住所、国籍、中長期在留者・特別永住者等の区分、在留カード番号、在留情報（在留資格、在留期間及び在留期間の満了日）</p> <p>b. a 以外の場合 パスポート（旅券）の写し（志願者本人の氏名、生年月日、性別が記載された部分）、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のいずれかを提出してください。 なお、出願時において日本国の在留資格を有する場合は、「在留カード」（両面）又はパスポートの日本国査証部分の写しも提出してください。</p>																		
<p>⑧受験票の送付に必要なもの</p>	<p>a. 受験票を日本国内で受け取る場合 郵便局等で販売している「レターパックライト（370円）」を購入し、お届け先欄に日本国内の送付先住所、氏名を記入し、入学志願票などの書類とともに提出してください。 ※ 郵送により提出する場合は、レターパックライトの封筒を折り曲げて提出してください。(注2) ※ レターパックライトは、本学が志願者に受験票を送付する際に使用します。出願書類の提出用には使用しないでください。</p> <p>b. 受験票を日本国外で受け取る場合 必要な料金分の国際返信切手券を提出してください。受験票を国際スピード郵便（EMS）で送付する際に使用します。 【国際返信切手券必要枚数】</p> <table border="1" data-bbox="531 981 1398 1240"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>国際返信切手券必要枚数</th> <th>日本円料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国・韓国・台湾</td> <td>12 枚</td> <td>1,450 円</td> </tr> <tr> <td>アジア（中国・韓国・台湾を除く）</td> <td>15 枚</td> <td>1,900 円</td> </tr> <tr> <td>オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ</td> <td>25 枚</td> <td>3,150 円</td> </tr> <tr> <td>米国（グアム等海外領土含む）</td> <td>30 枚</td> <td>3,900 円</td> </tr> <tr> <td>中南米（メキシコを除く）・アフリカ</td> <td>28 枚</td> <td>3,600 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 日本の切手を用意する場合は、日本円料金分の額を用意してください。</p>	地 域	国際返信切手券必要枚数	日本円料金	中国・韓国・台湾	12 枚	1,450 円	アジア（中国・韓国・台湾を除く）	15 枚	1,900 円	オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ	25 枚	3,150 円	米国（グアム等海外領土含む）	30 枚	3,900 円	中南米（メキシコを除く）・アフリカ	28 枚	3,600 円
地 域	国際返信切手券必要枚数	日本円料金																	
中国・韓国・台湾	12 枚	1,450 円																	
アジア（中国・韓国・台湾を除く）	15 枚	1,900 円																	
オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ	25 枚	3,150 円																	
米国（グアム等海外領土含む）	30 枚	3,900 円																	
中南米（メキシコを除く）・アフリカ	28 枚	3,600 円																	
<p>⑨合格通知用ラベル票</p>	<ul style="list-style-type: none"> 所定の用紙に必要な事項を志願者本人が記入してください。 合格通知を受け取る所が日本国外の場合、住所は英語で記入してください。 																		
<p>⑩その他の書類</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書に必要な書類を添えて提出してください。 																		

注1) 日本語訳は、志願者本人が日本語訳したもので構いません。

注2) 受験票送付用のレターパックライトについて



(5) 検定料の納入方法

ア) 日本国内で払い込む場合

検定料 17,000 円（別途払込手数料が必要です。）を同封している「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（ATM は利用しないでください。）

払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上、「②写真票・受験票・入学検定料納入確認票」の所定の欄に貼ってください。

イ) 日本国外から送金する場合

次の要領に従って、現地の金融機関から検定料 17,000 円を送金してください。

日本国内外の金融機関で発生する**全ての手数料は依頼人負担になります**。送金手続を行う現地の金融機関に手数料の額を確認し、検定料 17,000 円が指定口座に到着するように手続してください。

送金後、**外国送金依頼書の写しを出願書類等と一緒に提出してください**。

送金には時間がかかりますので早めに手続を行い、必ず**出願受付期間内に指定口座に到着するように**してください。

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)	
支払方法	通知払 (Advise and Pay)	
支払等手数料	依頼人負担 (Payer Account)	
送金金額	¥17,000	
送金目的	検定料 (Application Fee)	
送金する金融機関	銀行名	みずほ銀行 (MIZUHO BANK, LTD.)
	支店名	盛岡支店 (MORIOKA BRANCH)
	銀行住所等	〒020 - 0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1 - 5 - 8 (1 - 5 - 8 Nakanohashidori, Morioka, Iwate, 020 - 0871, JAPAN) tel. +81 - 19 - 622 - 2161
	口座番号	普通預金口座 8046384 (ORDINARY DEPOSIT ACCOUNT NO.8046384)
	口座名義	国立大学法人岩手大学 (IWATE UNIVERSITY)
	スウィフト・コード (swift code)	MHCBJPJ T

注) 送金依頼人は志願者の氏名としてください。

(6) 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。申請する方は、出願手続の際に一緒に申請手続を行ってください。

なお、申請手続等の詳細については、岩手大学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>) で確認してください。

(7) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望学部、学科、課程、コース等の変更は認めません。また、出願書類等は返還しません。
- ② 出願書類等に次のような不備があるものは受理しませんので、注意してください。
 - ア 記入漏れ、誤記入のあるもの
 - イ 検定料に不足のあるもの
 - ウ その他、提出すべき必要な書類が添付されていないもの
- ③ 出願書類の記入にあたっては、それぞれの記入要領及び注意書きを参照し、楷書で正しく明確に記入してください。
- ④ 出願書類等の提出後、現住所等に変更があった場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(8) 受験票の送付

- ① 出願書類を受理した後、受験番号を記載した受験票を送付します。
送付先は、「志願票」及び「受験票送付用レターバックライト（国内在住の志願者のみ）」に記載された受験票受信場所になります。
- ② 理工学部の志願者については令和6年1月30日（火）、人文社会科学部及び農学部の志願者については令和6年2月13日（火）を過ぎても受験票が到着しない場合は、岩手大学学務部入試課（☎019 - 621 - 6064）に問い合わせてください。

Ⅳ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記期日までに、「事前相談について」（所定様式）を提出してください。提出の際は本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html>）からダウンロード、もしくは次ページ掲載の様式をご利用ください。

理工学部 令和5年12月4日（月）

人文社会科学部及び農学部 令和6年1月11日（木）

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

また、上記期日後に不慮の事故等により、受験上の特別な配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名
 (志願者との関係)
 住 所
 電 話 - -

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名等

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 -	電話	- -
出身学校名		電話	- -

2 志願学部等名

学部・学科等	学部		学科 課程	コース
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型	私費外国人 前期日程 後期日程

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7 日常生活の状況

8 添付書類

- (1) 健康診断書
 (2) その他

注1 出身学校関係者等が記入してください。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記載しても構いません。

注4 健康診断書等の書類は必ず添付してください(コピー可)。

注5 ※欄は記入しないでください。

※ 大学記入欄

V 入学者選抜方法等

理工学部の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

人文社会科学部及び農学部の選抜は、大学入学共通テストを免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

1 入学者選抜方法

項目	学部	人文社会科学部	理工学部	農学部
本学で実施する個別学力検査等		小論文、面接	課さない	面接
日本留学試験	日本留学試験利用科目	文系（日本語・総合科目・数学） 又は 理系（日本語・理科・数学）	理系（日本語・理科・数学）（注1）	理系（日本語・理科・数学）（注2）
	数学のコース1、コース2の別（注3）	どちらでもよい	コース2	コース2
	理科の選択する2科目	3科目から任意の2科目選択	<ul style="list-style-type: none"> 化学・生命理工学科，物理・材料理工学科，システム創成工学科（電気電子通信コース，知能・メディア情報コース，社会基盤・環境コース） 「物理」「化学」「生物」から2科目 システム創成工学科（機械科学コース） 「物理」と「化学又は生物から1科目」の2科目 	3科目から任意の2科目選択
	日本留学試験の出題言語	日本語，英語のどちらでもよい	日本語	日本語，英語のどちらでもよい
	日本留学試験の利用	令和5年6月又は11月のどちらでもよい	令和5年6月又は11月のどちらでもよい	令和5年6月又は11月のどちらでもよい

注1）理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解）の合計が、260点以上であることが必要です。

注2）農学部植物生命科学科，応用生物化学科，森林科学科，食料生産環境学科，及び動物科学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解，記述），数学及び理科（2科目）の各科目の得点が平均点以上であることが必要です。

農学部共同獣医学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解，聴解・聴読解），数学及び理科（2科目）の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上），かつ日本語記述の得点が35点以上であることが必要です。

注3）コース1は、数学を必要とする程度が比較的少ない学部用
コース2は、数学を高度に必要とする学部用

※ 大規模災害等，予期せぬ事態が発生した場合，選抜方法を変更することがあります。

2 入試日程等

(1) 人文社会科学部

8時30分までに人文社会科学部に集合してください。（Ⅸ 建物配置及び試験場案内図参照）

年 月 日	課 程	個別学力検査等	時 間
令和6年2月25日（日）	全課程	小論文	9：00～10：30
		面 接	当日指示します。

(2) 農学部

15時50分までに農学部に集合してください。(IX 建物配置及び試験場案内図参照)

年 月 日	学 科	個別学力検査等	時 間
令和6年2月25日(日)	全学科	面接	16:00～

3 受験上の注意

試験当日は、下記の注意事項を守るとともに、試験場の監督者の指示に従ってください。

指示事項及び試験室等の案内については、各試験場に試験前日から掲示していますので、事前に確認してください。

- (1) 利用する成績に係る「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。
- (2) 試験場には駐車場がありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (3) 試験場の下見は、2月24日(土)としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、小論文については試験時間の延長はしません。

(6) 小論文について

- ① 受験の際、机の上に置けるものは「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」、黒の鉛筆またはシャープペンシル(黒い芯に限る)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)、メガネ、ハンカチ(無地で、試験開始前に試験監督に申し出て許可を得たもの)、ティッシュペーパー、目薬です。ティッシュペーパーは、袋から中身を取り出してください。これ以外のものは、かばん等にしまって、座席の下に置いてください。

また、腕時計(計時機能だけのもの)の使用は認めますが、腕時計型端末など辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいものについては、監督者の判断により、試験場本部が試験終了まで預かる場合があります。

- ② 定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。また、試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っている不正行為となることがあります。

不正行為については、「4 不正行為」も確認してください。

- ③ 携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーなどの音の出る機器は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また、時計のアラーム、時報、目覚まし音等の設定についても、試験開始20分前までに必ず解除しておいてください。
- ④ 答案には必ず本学の受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- ⑤ 試験開始後は試験終了まで退室を認めません。ただし、発病等やむを得ない場合の一時退室は除きます。
- ⑥ 答案提出前に離席してはいけません。受験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 答案は自席で提出してください。

(7) 面接について

試験開始後は、順番が来るまで受験者控室で待機してください。待機中に入退室を希望するときは、係員に申し出て、その指示に従ってください。

4 不正行為

(1) 次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 志願票・写真票・受験票・入学検定料納入確認票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。(写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等)
- ② カンニングをすること。(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、**定規**、**コンパス**、**電卓**、**そろばん**等の補助具や、**携帯電話**、**スマートフォン**、**腕時計型端末**、**電子辞書**、**ICレコーダー**等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、**携帯電話**、**スマートフォン**、**腕時計型端末**、**電子辞書**、**ICレコーダー**等の電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム等)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

Ⅵ 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

学部	合格発表の日時	方法
理工学部	令和6年2月5日(月)15時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/
人文社会科学部 農学部	令和6年3月6日(水)15時	

注1) 合否の問い合わせについては、一切応じません。

注2) 合格電報又は合格電話の受付を行っている者がいますが、これは岩手大学とは一切関係がありませんので、注意してください。

Ⅶ 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりとし、詳細については、合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

1 入学手続締切期日及び場所

合格者は、入学関係書類を取りそろえ、持参又は郵送により手続してください。

入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退した者として取り扱います。

学部	入学手続締切期日	場所・時間(持参の場合)
理工学部	令和6年2月16日(金)	岩手大学入学手続会場 10時から16時まで
人文社会科学部及び農学部	令和6年3月15日(金)	

注) 郵送により手続する場合、それぞれの入学手続締切期日16時必着です。

持参により手続する場合、「入学手続のしおり」で手続日を指示します。

2 入学関係書類

- (1) 誓約書・個人情報等の取り扱いに関する同意書
- (2) 入学手続確認書
- (3) 学生証用カラー写真（縦4cm×横3cm）1枚
- (4) 入学金納入確認票
- (5) その他所定の書類

3 大学納付金（登録番号 T6400005002202 国立大学法人岩手大学）

- (1) 入学金 282,000円（予定額） 非課税
- (2) 授業料 年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）（予定額） 非課税
注1）上記納付金は予定額であり，入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。
注2）授業料の納入方法については，「入学手続のしおり」でお知らせします。
なお，入学手続後の入学金については，いかなる理由があっても返還しません。

4 入学金及び授業料の免除等制度

- (1) 入学金及び授業料の免除
経済的理由によって修学が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，本人の申請に基づき選考の上，その全額，半額または1/4の額を免除することがあります。
- (2) 入学金徴収猶予
経済的理由によって入学金の納付が納付期限までに困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，本人の申請に基づき選考の上，定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

5 その他の経費（令和5年4月現在）

- (1) 学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険を含む）
学部4年間 4,080円
※ 農学部共同獣医学科のみ 学部6年間 5,890円
- (2) 後援会，同窓会費等の諸会費（学部によって異なります。）55,000円～80,000円
※ 上記(1)及び(2)は，全員加入を原則としています。

6 在留資格手続きについて

- 日本に入国する前に「査証（ビザ）」を取得する必要があります。合格者の方に手続きについての案内を送付しますので，必要な書類を準備して提出してください。
- ※ 既に「留学」の在留資格で日本に滞在している方以外は，全員必要な手続きです。
 - ※ 「査証（ビザ）」の取得には一定の期間を要します。

7 理工学部の特別プログラム履修生の選抜方法について

先端理工学特別プログラム及び地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉〈防災・まちづくり系〉では，入学後，履修生を追加募集することがあります。詳細については，<https://www.se.iwate-u.ac.jp/> をご確認ください。

Ⅷ 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

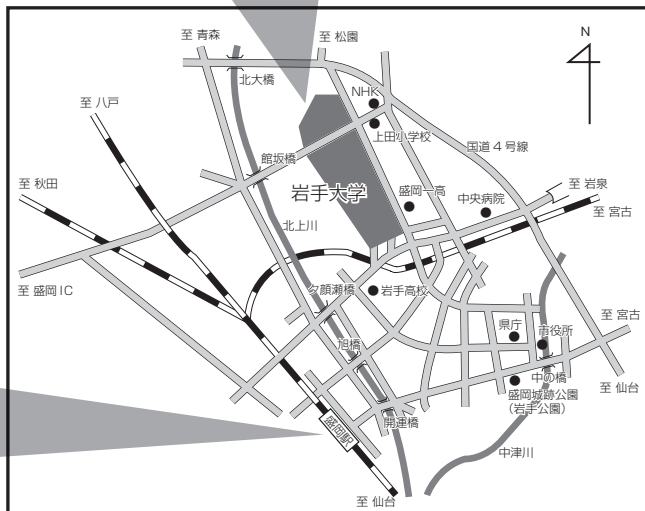
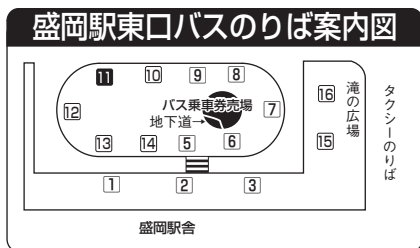
1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

Ⅸ 建物配置及び試験場案内図



学部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部 教育学部 農学部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「岩手大学前」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車
理工学部	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「上田四丁目」下車 岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「理工学部東口」下車

※ 本町、山岸、洞清水経由のバスには乗車しないでください。
 注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。
 注2) タクシー利用の場合
 盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で、料金は1,300円程度です。
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。



岩手大学への各種問い合わせについては、下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで
※ただし、祝日、全学休業日（12/28～1/3）は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課 ☎019-621-6064（+81-19-621-6064）

★留学生，奨学金，学生寮に関すること

岩手大学学務部国際課 ☎019-621-6076（+81-19-621-6076）

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課 ☎019-621-6506（+81-19-621-6506）

☎019-621-6882（+81-19-621-6882）

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課 ☎019-621-6031（+81-19-621-6031）

岩手大学ウェブサイトアドレス <https://www.iwate-u.ac.jp/>



<不測の事態（自然災害等）が発生した場合の情報提供について>

不測の事態（自然災害等）が発生した場合、岩手大学入学試験の実施に関する情報提供は次のウェブサイト等により行いますので、受験の前に確認してください。

岩手大学入試情報

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>

【「岩手大学トップページ」→「入試情報」】

